

健康ネットワーク

子どもの皮膚病

みずいぼ(伝染性軟属腫)
みずいぼは、ウイルスが水を介してうつります。プールやお風呂が感染源です。小児のからだ、四肢を中心に皮膚と同じ色か、もしくは薄い赤みをおびた柔らかい半球状のもりあがった皮膚疹です。昔は、夏の特徴的な皮膚病でしたが、今は一年中スミンクができるので冬にも発症します。自然に治ることもありますが、増えるスピードが速い場合は、治療が必要です。治療はつまんでとりますが、全てとりきれないと、再発もしくは多発するので、お医者さんにとつてもらう方がよいです。

最近では、とる痛みを和らげる方法もありますので、自己処置せずに皮膚科専門医にご相談ください。

とびひ(伝染性膿痂疹)
主に夏季に発症し、乳幼児の顔面・体・四肢に水疱や、破れてびらんという状態ができ、接触により次々と伝染します。原因は黄色ブドウ球菌です。予防は清潔にすること。多くは虫さされなどを、ひっかくことにより伝染するので、爪の手入れも必要です。治療は抗生物質の内服と外用になります。

手足口病
一〜五歳児で六・七・八月に流行し、潜伏期間は三〜四日。手のひら・指先・足の裏を主とし、口の中にも小さな水疱ができます。軽度発熱、下痢やお吐きなどの胃腸症状などをきたすことがあります。原因はウイルスですので、早めにかかりつけ医にご相談ください。

医師 萩原 マチ

羽生サヨがたり

時代の流れと共に生活様式が大きく変わり、家庭の行事(晴れの日)も消えてなくなりつつあります。昔から伝えられてきた年中行事をお知らせしましょう。

家庭の年中行事 七月(文月)

- 1日 初山 辻切り(上新郷)
- 5日 お獅子さま(中岩瀬)
- 7〜15日 天王様
- 10日 お獅子さま(町屋・神戸・手子林)
- 14日 尾崎のササラ 百万遍(今泉)
- 15日 嫁の遊山日 百万遍(三田ヶ谷・中岩瀬・手子林)
- 16日 百万遍(上岩瀬・下川崎)
- 23〜24日 愛宕様(上新郷)
- 25日 東谷天神様の土用干し(東谷)
- 26〜27日 お日待ち(川俣)
- 27日 石尊様(立てべっか)
- 31日 ちの輪くぐり

百万遍(カンカン)

一月十六日、七月(八月)十六日に行われる行事です。二・三百年前から「南無阿彌陀佛」を唱えれば、みんな極楽へ行くと出てくるという念佛信仰が盛んになりました。念佛を百万遍唱えた人達は、記念に百万遍供養塔を建てました。しかし時代がたつと極楽往生の願いから、悪霊・疫病・病虫害等の除けのための行事となりました。

「カンカン」と鉦を鳴らし、大きな珠の長い数珠を持って「ナイター、ナイター」と大声で叫びながら各家々を走り回って行きます。各家の庭先では数珠を外側に、みんなでひっぱりあい、はねとばされない様に必死で数珠にしがみつきます。主役は子どもたちで回り終わると、宿の家でお菓子をもらって帰ります。ここからは大人たちの世界となり、鉦をかついで子どもたちのお供をしたので、酒、豆腐、コンニャク、うどん等を前にして世間話に花がさきます。現在でも行われている地域があります。

石尊様

七月二十八日は、たてべっか八月十八日は、あげべっか石尊大権現をまつた大山の阿夫利神社は雨の神様で、

「夏の間おしめりに恵まれて作物がよくとれます様に」と願う祭りで、この期間には当番の人が毎日夕方になると、お宮に燈籠をともしに行きます。お祭りのやり方は各地区で違います。例えば宿の家で「安部川餅」をつくり子どもたちに配ったり(岩瀬)、お宮を立てた後、皆で昼寝をして夜は風呂桶を庭先きに出して湯につかり、うどん・天ぷら・白和えなどのご馳走を食べます(本川俣)。



環境 COMMUNICATION

夏の温暖化対策にご協力を

一年で最もエネルギー使用量が増える夏、県では温暖化防止のためのキャンペーンを実施しています。

夏のライフスタイル実践
キャンペーン期間
6月1日〜9月30日

冷房温度の設定を28にし、すだれやカーテンを利用するなど、涼しく過ごす工夫をしましょう。オフィスでは、ノーネクタイ、ノー上着で。

夏のエコライフDAY
キャンペーン期間
6月1日〜9月30日

一日、環境によい生活にチャレンジしてみてくださいませんか。省エネ・省資源の成果をチェックシートで把握していただきます。チェックシートは、市役所にあります。



エコシートのほか、地球温暖化防止活動推進センターのホームページからも参加できます。
(<http://www.kanetsai.org/ecolife/index.html>)

八都県市エコウエイブ
キャンペーン 7月7日

八都県市の共同取り組みとして、7月7日(火)の夜8時から首都圏一斉消灯を行います。

ご家庭でも明かりを消して、地球温暖化について考えてみませんか。さいたま新都心では、一斉消灯、キャンドルナイトなどのイベントを行います。

問い合わせ
埼玉県環境部温暖化対策課
☎048(830)3030
羽生市環境課(内線296)

鳥鳥風月

俳句 (俳句連盟会員)

- 静かなる沼面に映す花の影
上新郷 新井 享子
- たけなはの躑躅真つ赤な狸寺
上新郷 飯塚 叶子
- 風光り水光りつつ水車
本川俣 今西 佳子
- うららかなや時折沼に撥ねる音
中岩瀬 内田 えり
- 一本の桜明りやログハウス
中央四 梅沢 ヨシ
- 春の池時折水輪広げをり
上新郷 梅沢 貞子
- 青麦に青き穂が出て胸に沁む
本川俣 大久保久代
- 紫に遅れ白藤今盛り
中央四 奥沢 静子
- 時々花より零る鳥の声
稲子 尾上 緑
- 落慶の山門にほふ新樹晴
南六 折原 秀子

短歌 (羽生短歌会)

- 蘇るむじな藻の沼風光る
三田ヶ谷 柿沼 貞雄
- 風来ては藤の眺めを揺らすかな
上岩瀬 柿沼 松子
- 苑の径そぞろ巡りて春惜む
三田ヶ谷 河田美津枝
- 物干しの小さなシャツと鯉のぼり
南四 栗原弥生子
- 毛の国の嶺々に雲湧き若葉冷
上新郷 桑子 絹江
- 季を競ふ花の彩ひにぬき出でて
東二 渡辺登美江
- 大き牡丹のくれなゐひらく
母の日の贈りものとうパラソルに
肩寄せ合いて松代歩く
南七 新井 愛子
- 埋めおきし三つ葉の根より青あおと
茎立ちており今朝は摘まんか
北一 田島 和子